

施設長トーク 新しい年度の始まりに思う～小さな命を消さないで～

今年に入り、1月には千葉県野田市で10歳の娘が父親から冷水のシャワーを浴びせられるなどの暴行を受けて死亡。3月には、筑紫野市で8歳の長女を水風呂に入れて殺害しようとしたとして、母親と内縁の夫が殺人未遂容疑で逮捕された。これまでも東京では、十分な食事を与えられずに5歳の娘が死亡、大阪では、母親の交際相手の男らに腹を殴られ4歳の男児が死亡、北九州市では、テレビ台の引き出しに閉じ込められて4歳の男児が死亡。痛ましい事件が後を絶たない。亡くなった娘が書いた謝罪文には、「もうおねがい ゆるして」「もうぜったいぜったいやらないからね」と書き残されていたという。小さな「いのち」を何と考えているのだろうか。たまたま「小さな命を消さないで」と願う気持ちになる。虐待事件ばかりでなく、障がいがあるゆえに「小さな命を」消されてしまう事件が過去に日本で合法的に起こされていた事実もある。

私が選んでいる、障がいのある仲間たちを支援する仕事をしていて思うことは、この仲間たちは、世の多くの人々からたくさん愛されなければならない存在であると考えている。それは、人として生きることを守り、育み、社会の一員として認めていく価値観こそが大切だと考えるからである。障がいは、社会参加しづらい障壁を取り除けば、障がいではなくなる。

いま日本では、福祉人材の働く環境整備が進まず、人材確保がままならない現状である。一法人では打開できないこの現状を、多くの方に知っていただき、早急な対応を切望するところである。

多機能型障がい福祉サービス事業所えーる油山施設長 小関 正利

☆なかまCHANNEL ～じゃがいもの植え付け～☆

仲間達がジャガイモの植え付けを行ないました。児嶋さんの畑と堀さんの畑にあわせて112個の種芋を植え、「収穫の時も頑張ろう」と仲間の皆と一緒に話し合いました。新年度も農作業を頑張って美味しいお野菜を作りたいと思います。(支援員 並木)



＊ごあいさつ＊

この4月でえーる油山も4年目を迎えます。日々の仲間との活動を通して地域行事への参加が充実してきました。新しい仲間と職員ともこの輪を広げていきたいと思ひます。どうかよろしくお願ひします。(副施設長 佐々木篤)

この度、えーる油山サービス管理責任者として着任しました、中司隼人と申します。法人に入職して10年、サービス管理責任者の業務は生活介護葦の家から2度目となります。昨年度まで在籍しました放課後等支援より、3名の新規利用者共々、新天地での業務に励んでまいりたいと思ひます。(サービス管理責任者 中司隼人)

♪新任職員紹介♪ その1

4月1日より、えーる油山に配属されることになりました中野梨紗と申します。不慣れで行き届かない点があるかもしれませんが、仲間と一緒に楽しみながら頑張っていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。(支援員 中野梨紗)

◎◎◎4月の予定◎◎◎

4日 ハローデイ春日店バザー
6日 えーる油山入所式
12日 ハローデイ橋本店バザー

21日 ハローデイ周船寺店バザー
27日 ボンラパス薬院店バザー
4/27～30、5/4～6 GWにより休所

